【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公表番号】特表2016-539366(P2016-539366A)
【公表日】平成28年12月15日(2016.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-068
【出願番号】特願2016-529450(P2016-529450)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｃ　5/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　5/06　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　5/16　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　5/00
Ｇ０２Ｃ　5/06
Ｇ０２Ｃ　5/16
Ｇ０２Ｃ　1/00
Ｃ０８Ｊ　9/00　ＣＥＲＡ
Ｃ０８Ｊ　9/00　ＣＥＺ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成29年2月14日(2017.2.14)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レンズを保持するためのフレーム組立品を備えるアイウェアであって、前記フレーム組立品の少なくとも一部分が熱可塑性組成物から形成される高分子材料を含み、前記熱可塑性組成物がマトリクスポリマーを含む連続相を含み、マイクロ包含添加剤およびナノ包含添加剤が前記連続相内に個別領域の形態で分散されており、さらに多孔質ネットワークが前記材料中に画定されているアイウェア。
【請求項２】
前記フレーム組立品が、反対端部領域の間に位置付けられた中央領域を定義するレンズ保持セクション、および前記保持セクションの前記反対端部領域から延長するアームを備える、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項３】
前記レンズ保持セクションの少なくとも一部分が前記高分子材料を含む、請求項２に記載のアイウェア。
【請求項４】
前記フレーム組立品が、前記保持セクションの中央領域に隣接して配置されたブリッジをさらに備える、請求項２に記載のアイウェア。
【請求項５】
前記ブリッジの少なくとも一部分が前記高分子材料を含む、請求項４に記載のアイウェア。
【請求項６】

前記アームの少なくとも一部分が前記高分子材料を含む、請求項２に記載のアイウェア。
【請求項７】
少なくとも一つのレンズが前記レンズ保持セクションの前記中央領域に隣接して位置付けられている、請求項２に記載のアイウェア。
【請求項８】
前記材料の前記平均細孔容量が１５％～８０％／ｃｍ^{3}である、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項９】
前記材料の密度が１．２ｇ／ｃｍ^{3}以下である、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１０】
前記材料の弾性係数が２５００ＭＰａ以下である、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１１】
前記多孔質ネットワークが、８００ナノメートル以下の平均断面寸法を持つ複数のナノ細孔を含む、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１２】
前記多孔質ネットワークがマイクロ細孔をさらに含む、請求項１１に記載のアイウェア。
【請求項１３】
前記連続相が前記熱可塑性組成物の６０重量％～９９重量％を占める、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１４】
前記マトリクスポリマーがポリエステルまたはポリオレフィンを含む、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１５】
前記ポリエステルが０℃以上のガラス転移温度を持つ、請求項１４に記載のアイウェア。
【請求項１６】
前記マイクロ包含添加剤がポリオレフィンを含む、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１７】
前記マイクロ包含添加剤の溶解パラメータに対する前記マトリクスポリマーの溶解パラメータの比率が０．５～１．５、前記マイクロ包含添加剤のメルトフローレートに対する前記マトリクスポリマーのメルトフローレートの比率が０．２～８、および／または前記マイクロ包含添加剤のヤング弾性係数の前記マトリクスポリマーのヤング弾性係数に対する比率が１～２５０である、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１８】
前記ナノ包含添加剤がポリエポキシドである、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項１９】
前記マイクロ包含添加剤が前記連続相の重量に基づいて前記組成物の１重量％～３０重量％を構成する、および／または、前記ナノ包含添加剤が前記連続相の重量に基づいて前記組成物の０．０５重量％～２０重量％を構成する、請求項１に記載のアイウェア。
【請求項２０】
前記熱可塑性組成物が相間修飾剤をさらに含む、請求項１に記載のアイウェア。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００３】
本発明の一つの実施形態によると、レンズを保持するためのフレーム組立品を含むアイ

ウェアが開示されている。フレーム組立品の少なくとも一部分は、熱可塑性組成物から形成された高分子材料を含む。熱可塑性組成物は、マトリクスポリマーを含む連続相を含有する。マイクロ包含添加剤およびナノ包含添加剤が、個別領域の形態で連続相内に分散されており、多孔質ネットワークが材料内に画定される。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７５】
ＩＩＩ．アイウェア
上述のように、本発明の高分子材料は、アイウェアのフレーム組立品全体または単にその一つ以上の構成成分を形成しうる。一つの実施形態では、例えば、フレーム組立品は、反対端部領域の間に位置付けられた中央領域を画定するレンズ保持セクションを含む。フレーム組立品は、レンズ保持セクションの反対端部領域から延長し、使用中に着用者の耳の周りに適合しうるアームおよび／またはレンズ保持セクションの中央領域に隣接して配置され、着用者の鼻の上にフィットするように構成されたブリッジも含みうる。少なくとも一つのレンズ（例えば、１つまたは２つ）が、保持セクションの中央領域に隣接して位置付けられうる。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７８】
本発明の高分子材料を用いうるアイウェアのタイプは特に限定されず、メガネ、サングラス、安全メガネ、スポーツゴーグルなど、当技術分野で知られているさまざまなタイプのアイウェア製品の任意のものを用いることができる。図１を参照すると、例えば、本発明に従って形成されうるアイウェアの一つの例示的実施形態が、アイウェア１０の形態で示されている。この実施形態では、アイウェア１０は、二つのレンズ３４を保持するように構成されたフレーム組立品１２を含む。フレーム組立品は、反対端部領域２０の間に位置付けられた中央領域１８を画定するレンズ保持セクション１４を含みうる。レンズ保持セクション１４は、レンズ３４を受けるための外周２８および内周を一緒に画定する上部２４および下部２６も画定しうる。望ましい場合、レンズ保持セクション１４（例えば、上部２４および／または下部２６）は本発明の高分子材料を含みうる。このような方法で用いられた時、高分子材料は、それが比較的硬くなるように、上述のような熱処理を随意に施されうる。図１のフレーム組立品１２は、反対端部領域２０で保持セクション１４に旋回可能なように取り付けられた二つのアーム１６も含みうる。ここでも望ましい場合は、アーム１６は本発明の高分子材料を含みうる。このような方法で用いられた時、着用者によってアーム１６が容易に曲げられ形成されるように、材料の高いレベルの柔軟性を維持することが望ましい場合がある。フレーム組立品１２は、保持セクション１４の中央領域に隣接して配置されたブリッジ１６など、その他の構成要素も含みうる。望ましい場合、ブリッジ１６も本発明の高分子材料から形成されうる。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７９】
本発明に従って形成されうるアイウェア１０Ｂのまた別の例示的実施形態が、防護メガ

ネ（例えば、安全メガネ、スポーツメガネなど）の形態で図２に示されている。この実施形態では、アイウェア１０Ｂは、着用者の顔に適合する湾曲を持ちうる細長いベースの形状のレンズ保持セクション１１４を含むフレーム組立品１１２を持つ。この実施形態では、保持セクション１１４は、単一レンズ１３４を受けるために上部１２６のみを含む。上部１２６は、細長い輪郭に構成され、レンズ１３４の周辺部分に沿って画定されたそれぞれの開口部１５４に摩擦係合した、一つ以上の突起要素１５２（例えば、スタッド）も含みうる。フレーム組立品１１２は、ブリッジ１５８も含む場合があり、窪み１５６に位置付けられレンズ１３４に直接取り付けられうる。二つのアーム１１６は、保持セクション１１４の反対端部領域に、同様に旋回可能なように取り付けられる。望ましい場合、レンズ保持セクション１１４、突起要素１５２、ブリッジ１５８、アーム１１６などが、本発明の高分子材料を含みうる。